

恨事にあらずして何ぞや大正の御代も既に十年、今尙かゝる地方的僻見の偶々存するあるは吾人の寔に遺憾とする所にして日進の大勢に孤負する所甚だ大なるを想ひ本會は其の弊風打破の爲に京都市に於て道路改良講演會を開きたり、時は本年一月三十日。比叡の風烈し未だ西山に雪を見るの時兎角引込思案の都人士の集り方如何あらんかと危ぶまれ京都一流の廣告法を以てポスターを撤くこと五萬枚、扱も案ずるより産むが安く午後五時の開講に先ち會衆無慮八百名に達し、しかも智識階級其の大部分を占め、吾人をして事の意想外なりしに驚かしむ、石黒副會長が道路公債法の内容より道路改良の利益に論及して滿場を酔はしめし頃より一層入場する者繁く、三條柳馬場の青年會館も立錐の餘地なき光景にして、曾て成功したりと稱せらるゝ都市研究會主催講演會以上の盛況なりしは吾人の満足する所、更に幹事内務書記官松本學氏の道路改良の急務及本會囑託鐵道省名古屋鐵道局運輸課長岸本熊太郎氏の鐵道側より觀たる道路改良に關し生新潑澗の講演あり次て本會理事陸軍中將佐

藤綱次郎氏の産業と道路との講演に移るや満場水を打ちたるが如く最後にサミニ
ル、ヒル氏寄贈の幻灯を映寫して觀覽に供し多大の感動と興味とを與へ午後九時二
十分石黒副會長の挨拶を以て盛會裡に閉會したり。吾人は京都府下に於ける國道府
縣道の改良計畫が豫想以上の聽衆を得たる此講演會と同様に豫期以上に促進して着
手の一日も早からんことを切に祈ると共に、本講演會開催の爲に尠なからず援助を
與へられたる京都府及京都市の當局者に多謝す。(編者)